

東京高齢協 ニュース

2025年 新年号 No. 202

URL www.t-koureiyou.or.jp
E-mail info@t-koureiyou.or.jp

Pick Up

- 新年のご挨拶
- 第26回総代会報告
- 新年の抱負



新年のご挨拶

理事長 庭野 吉也

新しい年を迎えました。年頭にあたり、皆さまのご多幸とご健康を心よりお祈り申し上げます。
寒さが一段と厳しくなる時期に入ります。体調管理に十分留意され、この冬を元気に過ごしていただきたいと思います。ただ、近年、四季の移ろいがはっきりしなくなっていることがとても気掛かりです。記録的な酷暑の夏が来たと思えば、暦の上で季節が移っても気温が下がらず、秋を飛び越えていきなり寒くなるといった具合です。また、年間を通じて季節外れの暑さや寒さが当たり前ようになってきています。こうした気候変動の要因となっている温暖化への対策は、政府や企業はもちろんですが、私たち一人ひとりが取り組める小さな省エネの工夫もあるように思います。

今年是被爆・戦後80年になります。しかし、世界では今でも戦火が絶えません。ウクライナでは、ロシアによる核使用の脅威までも強まっています。「戦争は国が始めるもの。始めるのは割とたやすいけれど、終わらせるのはとても大変なことだ」と、報道番組でコメントした人がいました。まったくそのとおりだと思います。

そのような中、昨年は日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)がノーベル平和賞を受賞するという大変喜ばしい出来事がありました。全国の生協は、それぞれの地域で被爆者団体と連携して核廃絶に向けた取り組みを進めてきた長い歴史があります。日本被団協の70年近くに及ぶ活動に敬意を表しますとともに、核なき世界への歩みはもとより、生協の平和への取り組みを一層強めることが現局面下でますます重要になっていると実感しています。

くらしを取り巻く状況では、物価高騰が止まりません。生鮮食品は、この4年間で3割近くまで値上がりしています。さらに年明けからは、食品や飲料など、およそ4,000品目の値上げが4月まで予定されていて、昨年を大幅に上回る値上げが続くと報じられています。一方で実質賃金は長期の下落傾向が続き、まさに厳しいくらしの現実に直面しています。

生協は一言で言えば“助け合いの組織”です。誰もが支え、支えられる社会の実現に向けて、東京高齢協は今期が初年度の第3次中期計画で、「超高齢社会の福祉活動の一翼を担う」ことを目標として掲げました。事業規模は小さくなくとも、福祉の分野で地域から必要とされる存在になるという思いが目標に込められています。介護事業所でも指定管理施設でも、そして委託介護予防事業においても、日々の利用者の思いや願いに耳を傾け、その実現や問題解決に向けた取り組みを進めることで、誰もが安心して暮らせる社会と地域コミュニティーの形成に寄与できるものと確信しています。

今期の方針、計画を一つひとつ達成させながら、皆さまと一緒に着実に歩んでいく年にしたいと思います。

どうぞ本年もよろしくお願いたします。



第 26 回通常総代会報告



東京高齢協第 26 回通常総代会を 12 月 8 日（日）ラパスホールで開催しました。

出席総代は 96 名（本人 14、委任 1、書面 81）でした。議長は、加藤総代と鈴木総代が務めました。庭野理事長の開会の挨拶の後、総代会が始まりました。今回も全国から多くのメッセージが寄せられました。メッセージの一部を石井理事が披露しました。



今期は 20 年以上勤続された職員の方が 3 名いらっしゃいました。永い間、ありがとうございました。その後、福地専務理事が第 1 号議案から第 3 号議案までを一括提案しました。

第 1 号議案 第 26 期事業報告及び決算報告

第 26 期は、第 24 期からの中期計画の最終期でした。中期計画では 4 つの目標を掲げました。

- ① 毎期ごとに介護人材 10 名以上確保 ⇒ 3 年で 15 名
- ② 介護事業の売上げを 26 期に 2 億 2000 万円以上 ⇒ 1 億 4,232 万円
- ③ 指定管理施設を 26 期までに新規 3 か所獲得 ⇒ 3 か所受託
- ④ 26 期までに 100 人以上の組合員獲得 ⇒ 3 年で 126 人

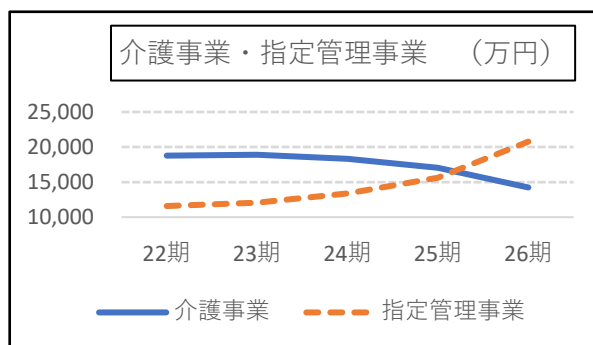
掲げた目標は半分しか達成できませんでした。特に介護事業の売上げは毎期ごとに減収しています。

第 22 期から連続して黒字決算となりましたが、介護事業の減収により増収減益が続いています。

	26期実績	26期予算	25期実績	予算比	前年比
福祉事業収入	382,593,767	412,541,000	363,802,948	93%	105%
福祉事業費用	348,994,886	376,087,500	324,621,754	93%	108%
原価率	91.20%	91.20%	89.20%		
経常剰余金	3,315,714	702,500	11,321,179		29%

また、指定管理施設管理料と介護

事業所収入の関係は 25 期から逆転しています。指定管理施設は決まった予算内で運営するため、利益率は低くなります。利益率の高い介護事業が減収すると全体の剰余も減っていきます。介護事業の経営改善にも取り組みましたが、減収を食い止めることはできませんでした。



第 2 号議案 第 3 次中期計画・第 27 期事業計画及び予算

第 27 期は、第 3 次中期計画の初年度です。

中期計画策定委員会を立ち上げ、理事、組合員と共に今後の高齢協の目標を設定し具体的な計画を策定しました。

◎中期計画ビジョン 「我々は高齢者のための福祉事業の推進と健康・いきがづくりの活動をすすめ、超高齢社会の福祉活動の一翼を担います」

◎第 3 次中期計画

- ① 介護福祉事業収入を前期対比で 1%増を継続
- ② 指定管理施設の更新継続と新規施設 2 か所の受託
- ③ 新規組合員を 3 年間で 150 人増
- ④ 新規事業委員会を設立し、調査・トライアルを開始



第 27 期の事業計画の基本方針は、地域福祉のネットワークの要となることです。指定管理施設での介護予防の取組み、介護事業所による在宅生活の維持・向上の取組みを継続していくことです。

それを実現するためには、まず介護事業所の経営改善が必須です。訪問介護事業所の月次原価率を 90% 以下とし、事業収入は予算の 1 億 4418 万円を達成していきます。

次に指定管理施設の安定した運営です。そのために本部体制を強化し、各行政による調査・監査に対応します。館長・副館長の会計レベルも強化します。そして、練馬高野台敬老館の令和 7 年 3 月 31 日閉館を滞りなく行います。

第 27 期の予算は、26 期の 101% となりましたが、本部体制強化のため事業経費（一般管理費・本部経費）を前期比 115%としたため、事業剰余は 59 万円となりました。非常に厳しい予算ですが、単月予算をクリアしていくことが、期末の黒字に繋がります。

	27期予算	26期実績	26期予算	27期予算 /26期実績	26期実績 /26期予算
福祉事業収入計	386,116,000	382,593,767	412,541,000	101%	93%
福祉事業費用計	350,466,000	348,994,886	376,087,500	100%	93%
福祉事業剰余金	35,650,000	33,598,881	36,453,500	106%	92%
事業経費計	35,058,000	30,518,507	35,751,000	115%	85%
事業剰余金	592,000	3,080,374	702,500	19%	438%

全ての議案を提案後、採決に移りました。採決の結果、賛成多数で全議案が承認されました。

第1号議案 第26期事業報告、決算関係書類等承認及び剰余金処分案決定の件	反対0、保留0、賛成94
第2号議案 第3次中期計画・第27期事業計画及び予算決定の件	反対0、保留0、賛成94
第3号議案 役員報酬限度額決定の件	反対0、保留0、賛成94

役員補欠選挙について

鈴木多寿子選挙管理委員会委員長より、役員補欠選挙に立候補者 1 名があり役員選挙規約第 9 条第 3 項に基づき役員に選出され、本人が就任を承諾した旨の報告がありました。新たに、大山拓也氏が理事となりました。

第 26 回通常総代会 第 1 号議案についての発言

① 第 3 選挙区 鈴木淳弥 総代



第 26 期は利用者のサービス内容の見直しに取り組みました。先ずヘルパー給と報酬額の割合や利用者に対するアセスメントができていないかどうかを調べました。結果、事業所の剰余を圧迫しているのが報酬の低い生活援助中心の長時間サービスであり、丁寧なアセスメントもされていなかったことが分かりました。私たちは、ヘルパーからの報告を、サービス提供責任者が丁寧にアセスメントし、その結果をサービス担当者会議に提案することで、事業所の経営改善を続けます。

② 第 1 選挙区 齋藤祐子 総代



「高野台敬老館のあゆみ」について発言されました。練馬区立高野台敬老館は、2006 年（平成 18 年）に東京高齢協が初めて受託した「指定管理者」の施設になります。しかし、練馬区の「公共施設等総合管理計画」により、令和 7 年 3 月末で閉鎖となり、小規模の「街かどケアカフェ」に機能転換することになりました。18 年間運営できたことに感謝の意を表されていました。

③ 第 1 選挙区 岩村隆生 総代



昨年、練馬区主催の「はつらつシニア活躍応援塾」に通いました。そこで知り合ったメンバー 4 名に、高田馬場シニア活動館での講師をお願いし、館の利用率アップに貢献して貰っています。また、高齢協の文化活動にも興味を持って頂き、4 名の皆さん全員が組合員になって頂きました。練馬区・新宿区の施設でのボランティア活動に加え、組合の文化活動との連携等に繋がっていけばと思っています。



新年の抱負



「今日も楽しかったよ」、「また来るね」

利用者からそんな言葉をかけていただくと、自然に顔がほころんでしまいます。それが私の明日への活力になります。

この仕事をさせていただいて色々なことを学ばせていただいています。

私は歌うことが好きです。昭和初期の歌はよく知っているほうだと思います。

新しい年も、引き続き一緒に歌ったり童謡なども折り込んで、声を出しながら身体を動かしたいと思っています。

これからも利用者みなさんを尊重し、一人ひとりに合わせたコミュニケーションが取れるよう、心がけていきたいと思っています。みなさんがデイサービスに来るのが楽しいと思っただけのような、そして、第2の我が家と思っただけのような心地よい場所づくりと、利用者に寄り添い、いっそうの笑顔を引き出せたらと思っています。



2025

東京高齢協 ふじみ 中田 明子

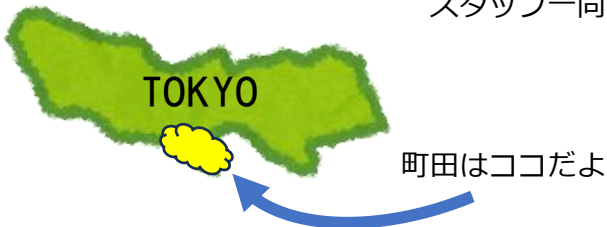
明けましておめでとうございます。

今年も宜しくお願い申し上げます。

昨年はヘルパーさんが新しく5名入られ、町田は常勤も合わせ全員で25名と、またにぎやかになってきました。

新規の利用者も増えてきているので、大きな事故やケガがないよう、今年1年職員全員が元気に過ごし、利用者みなさんの生活のサポートを行い、皆が安心して過ごせるようがんばります。

町田地域センター 管理者 岩楯 真紀
スタッフ一同



新年明けましておめでとうございます。

敬老館の庭にある寒椿が今年も見事に花を咲かせました。

毎年変わらぬ冬の景色です。

2025年は高野台敬老館が閉館となる年です。

残り3ヶ月、私たちはいつもと変わらず館の運営を丁寧に行っていきます。

今年もどうぞよろしく願いいたします。

練馬区立高野台敬老館 館長 松本 公美



あけましておめでとうございます。

・昨年は右も左も分からず手探りで館運営を行っていましたが、今年は新しいメンバーと共に、利用者にさらに喜んで頂けるような館にしていきたいです。個人的には、昨年引き続き中性脂肪の値を正常値に戻す努力を行います。

・昨年を踏まえて新しいことにもチャレンジし、皆で館を盛り上げていきたいです。健康にも留意していきます。

・笑顔を大切に、利用者をお迎えできるよう頑張って参ります。

・私は社会人経験が40年以上になりますが、ここでは新1年生。

利用者に喜んで頂けるよう、

日々精進していきたいと思っています。年間100冊読破も大きな目標です。

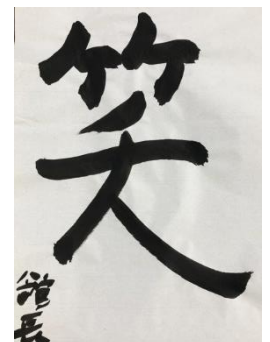
・利用者に顔を覚えてもらえるように、積極的に声がけを行って行きます。

そして、どんなときも笑顔を忘れない一年にしたいです。

・業務内容を把握して、滞りの無いようにしていきたいです。

本年も宜しくお願い致します。

早稲田南町地域交流館 職員一同





新年の抱負



新しい年を迎え、謹んでお祝い申し上げます。

新年を迎えるたびに時の流れる速さを実感しますが、今年も様々なことに目標を立て、挑戦していきたいと思います。目標や挑戦を見失ったとき人は心身共に老いていくのだと思っているからです。



信濃町シニア活動館 館長 吉田和彦

謹んで新春をお祝い申し上げます。旧年中は皆様には大変お世話になりありがとうございました。

今年は、昨年よりスタートした地域支え合い活動の定着に更に尽力し、団体の育成及び支援に取り組んで参りたいと思います。本年もよろしく願いいたします。

信濃町シニア活動館 副館長 中村陽子

上落合地域交流館は、来年4月からまた新しい5年間が始まります。高齢者の増加と共に、交流館もこれから様々な面で大きく変わって行くでしょう。

今まで培ってきたものを土台にして、その最初の1年を新たな気持ちで出発したいと思います

上落合地域交流館 館長 宮下小織



「〇〇さんおはようございます」 こんな挨拶で利用者さんの顔を拝見してケアがスタートします。

「ご気分は如何ですか・・・」笑顔で声をかけていますが「どうした？いつもより元気がないよ」利用者さんには私たちの様子がわかってしまうのです。考え事を気にしてのケアでは“ばれてしまってます。”そんなことがいつもより多い2024年だったと反省しています。

辛い所を、出来ないところを少しお手伝いする。我々の訪問を楽しみにして下さる皆様に、今年2025年こそは「おはようございます！」

飾りない笑顔で訪問する事を心がけます。

国立ふぁみり～・さぼ～と 管理者 大橋正三



初めまして、10月よりこちらでお世話になっています前田と申します。今年の4月に認知症で施設にお世話になっていた母を看取り、私自身も70歳となりこの先々終活を含めどうやって生活をしていこうか考えていた時に、東京に住む子供がこの先々一人暮らしは色々心配だからと、此方へ呼んでくれたのを機に移住を決意し今に至っております。

昔は多趣味で色々興味のある事に手を出して広く浅く楽しんでいましたが、現在では健康志向で、一日1万歩を目指し、雨の日以外は大体ウォーキングができています。あとは軽い筋肉トレーニングをして足腰が衰えないように気を付けています。初めて経験する仕事ですが、館長はじめ職員の方々に大変良くしていただき、良い雰囲気の中頑張っ続けていきたいと思っています。

新宿地域交流館 前田誠

新年あけましておめでとうございます。

早いもので館長に就任して1年が経ちました。日頃の職員の方々の協力に感謝感謝です。

さて、お正月と言えば、昔は彼女や仲間たちと「大阪天満宮」や京都の「八坂神社」「平安神宮」などへ、大晦日の夜からオールで初詣に出掛けたものでした。

上京してからは、わざわざ電車に乗って初詣に出掛けることも無くなっていましたが、コロナ禍の時に、「初代タイガーマスクのお守り」を授かりに「神田明神」を参りました。

それ以来「何となく運気が上向いてきているのかな」と感じるようになり、気が付けば毎年初詣に参るようになっていました。

今年も寝正月のあとで、神田明神を参ろうと思います。

新宿地域交流館 館長 大山拓也





新年の抱負



あけましておめでとうございます。

山吹は、いつも笑顔に溢れて元気いっぱい！

職員一同、笑顔を忘れず、来館者に元気と満足、そして幸せを届けます。

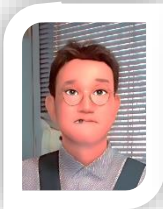
今年も、よろしくお願ひいたします。

山吹町地域交流館

職員一同

山吹町に来て、
元気を出してね！

楽しい講座やイベントが、
盛りだくさんですよ！



あけましておめでとうございます。

本年もよろしくお願ひいたします。

中落合地域交流館では昨年、利用者数の増加を目指して様々な講座を実施してきました。

今年は2024年に開催して好評だった写経の講座を定期的に実施したり、企業が社会貢献で行っている講座を取り入れたりしながら、満足度の高い事業を企画していきます。昨年に引き続き多くの利用者の方に来館していただけるよう、職員一同頑張ります。

中落合地域交流館 職員一同



*Happy
New Year*

新年あけましておめでとうございます。

昨年は事務所の管理体制も変わり、9月には事務所の移転もあり変化にとんだ一年でした。

夢中でやった引越しでしたが、ヘルパーさんたちの協力があったからこそ無事終わることが出来たと感謝しております。12月に入り旧事務所は取り壊され、更地になりました。

約20年間通った場所が無くなってしまふのは寂しいものです。

行く方向を間違えて、「あっ違う」と新しい事務所へ向かった日もありました。やっと新しい事務所にも慣れ、通勤や利用者宅への移動にも馴染んできました。今年もヘルパーさんが一人も欠けることなく、増えることを期待しつつ「健康第一」で頑張っていきたいと思ひます。

世田谷訪問介護 青い空 管理者 沼田久美子

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、高田馬場シニア活動館の新しい船出の年ということもあり、右往左往しながらも、職員一丸となり様々な難局を乗り越えた一年となりました。少しずつではありますが、利用者の方との距離も縮まりはじめ、各事業も楽しく参加され、有意義なひと時を過ごして頂いたと感じています。

今年も、複数の新規事業の立ち上げを視野に、利用者のさらなる増加を目指します。

巳年ということで、ヘビー級王者(笑)になるべく、職員一同、利用者の声に耳を傾け、本部ならびに他のシニア活動館・地域交流館にご協力を賜りつつ、粉骨砕身業務に勤しんでまいり所存であります。

最後に、東京高齢協の皆様、今年も巳(み)のり多き年にしていましよう！

本年も、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

高田馬場シニア活動館 安田広昭

工芸サロンの祝い鶴





新年の抱負



来年度の抱負は「一歩ずつ無理なく歩いていく。」です。

今年度は、事業所内での意思疎通不備により、常勤者が一名退職してしまうことが有りました。

仕事面では、利用者が亡くなってしまうことが続けざまにあり、売上高が大いに減少してしまいました。ヘルパーさんなどの協力のもと、一時は回復しましたが、年末にかけて、また大口の利用者さんの施設入所などがありました。皆様に大変心配をかけるような運営状況に置かれていますが、のぞみのケアマネの高橋さんや白間さんの努力や、サ責やヘルパーさん達の実績により、再び何件かの声がかかってきています。

来年に向けて少しずつではありますが、暗闇から光が見えてきたように思います。

いろいろな事情もありますが、来年は一歩ずつ歩いていきたいと祈念します。

東京高齢協 のぞみ 管理者 鈴木正史



明けましておめでとうございます。

品川区立大崎ゆうゆうプラザは指定管理を受託し3年が経過します。おかげさまで大きな事故もなく日々運営を重ねています。

利用者みなさんと一緒に地域高齢者福祉や多世代交流を進めたいと考え、令和5年は1か所の保育園から始めた卒園児への折り紙プレゼントが、令和6年には2か所に増えました。保育園からプレゼントのお礼に歌や踊りを披露したいと連絡を受け、定期的な交流に発展しました。12月クリスマスには豊田サンタも登場しました。

7年度にはプレゼント交流の保育園を4か所に増やす計画です。

11月から月5回、交流スペースでワークショップを開くことになりました。「はらぺこあおむし」の折紙100個を目標にボランティアが集まりおしゃべりしながらの作業です。

卒園式ももうすぐ。小学校へ上がっても遊びに来てねと願いを込めて。

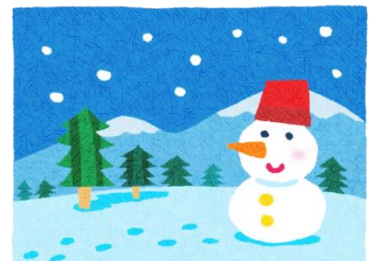
大崎ゆうゆうプラザ 施設長 豊田昌彦



Q1. ①～④は雪の種類です。それぞれどんな雪か下から選んでください。

- ①粉雪 ②綿雪 ③餅雪 ④灰雪

- A.水分が多く自由に形を変えやすい
- B.風に舞いやすく積りにくい
- C.水分を多く含むため重みがある
- D.ほかの種類と比べて厚みがある



Q2. 冬にちなんだ難読漢字、いくつ読めますか。語群から選んでください。

- ① 鞆 ② 橇 ③ 霰
④ 嗽 ⑤ 樅

- A.ヒイラギ B.ミゾレ C.スキー
- D.クシャミ E.モミ F.アカギレ
- G.ソリ H.ウガイ

Q3. □の中に＋、－、×、÷を入れて計算式を完成してください。

① $8 \square 2 \square 7 = 9$

② $4 \square 6 \square 3 = 7$

③ $4 \square 4 \square 2 = 8$

東京高齢協介護福祉事業所

東京高齢協 のぞみ	03-5856-0886
東京高齢協 世田谷訪問介護 青い空	03-5426-6831
東京高齢協 ふじみ	03-6905-7858
東京高齢協 国立地域センター ふあみり～・さぽーと	042-577-0399
東京高齢協 町田地域センター	042-789-5303
東京高齢協 ひなた	03-3577-2800

東京高齢協指定管理者受託施設

高田馬場シニア活動館	03-3362-4560
信濃町シニア活動館	03-5369-6737
早稲田南町地域交流館	03-3208-2552
新宿地域交流館	03-3341-8955
山吹町地域交流館	03-3269-6189
上落合地域交流館	03-3360-1414
中落合地域交流館	03-3952-7163
高野台敬老館	03-3996-5135
大崎ゆうゆうプラザ	03-5719-5322

入会案内

生活協同組合・東京高齢協は「最期まで自分らしく輝いて生きたい」の思いを実現する、ささえあいの協同組合です。

ぜひ、東京高齢協の活動と一緒に参加しませんか？本部にご連絡ください！

- ① 所定の加入申込書に必要事項を記入してご提出して下さい。
- ② 出資金（1,000円/1口）を1口以上お預けいただきます。

ためして脳トレ<答え>

ためして脳トレ回答

- Q1 ①=B ②=C ③=A ④=D
 Q2 ①=F ②=G ③=B ④=H ⑤=E
 Q3 ① × - ② + - ③ × ÷

地域・活動グループからのお知らせ

いよよ華やぐ倶楽部	03-5904-9011(本部)	お問合せ下さい
新「SORA(そら)組」	090-2661-0991(本多)	新規発足のフリーサークルです。
練馬かんらん会の会	090-2661-0991(本多)	お問合せ下さい
東京フロイデ合唱団	03-5940-0731	お問合せ下さい (関係団体)
ふじみサロン	03-6905-7858	お問合せ下さい
サロン木曽の里	042-789-5303	町田市本町田2507-7 八-14
こめカフェ	03-5426-6831(青い空)	(休止中)

東京高齢協ニュース 2025年・新年号 1月10日発行(通算202号)

生活協同組合・東京高齢協
理事長 庭野吉也

〒170-0005豊島区南大塚3-43-12
 Tel 03-5904-9011
 Fax 03-5904-9012
 Mail info@t-koureikyou.or.jp
 URL http://t-koureikyou.or.jp/

編集後記

新年を迎えるたびに、駆け出しのヘルパーだった頃を思い出す。利用者の誕生日だっただろうか、「今日突然に88歳になったわけじゃないからね。気が付いたらこの年になっていたわけで」と言われて、はっとした。私が接している高齢者は、身体的には衰えてはいるが、心はずっと若いままなのだ気づかされた。自分自身高齢者といわれるようになったが、あれもしたい、これもやりたいと思う気持ちは今もある。ただ、もう年だからとか、あと何年生きられるかなと思うと意欲が減退してしまう。自分で限界を決めてしまうことが年を取ることなのかもしれない。

「年なんだから、止めなさい！」と言われても、今年新しいことに挑戦していこうと元旦に誓った。

